

連



前後の敵に対する。

1、正面を向いている



2、真後ろに向き



3、正座をし、精神統一、二呼吸半



4、刀を抜き、上段に構え



5、敵を打つ、片手添え切り
(斬るのでわなく、相手の額を打つのである)



6、即、後の敵に向く
(立ってはない、中腰で真後ろに向く)



7、相手を確認する
(後ろ足の膝は床に付けない)
(間 一つ数える)



8、真っ向斬り、刀は水平



9.納刀
左手で鯉口を包むようにもつ、刀の柄頭を敵に向けた状態、鞘を持った左手の親指と人差し指の間に刀の物打ちを乗せ、左手で鞘を引いて切っ先が人差し指に落ちたことを確認して鞘に納め始める



10.刀が鞘に1/3位入ったところから左足を引きつける



16.納刀が終了した状態(尻と踵は少々あげた状態)



共通

1.右足を出し、同時に右手で柄頭を持つ(右足は90° 左足と背筋は直線)



2.立ち上がりながら、左足を一足の半分まで引き付ける



3.前に出している右足を左足にそろえる



4.右手、左手を下し、手のひらを開いて残心